

本森百景

京橋図書館だより

第8号

令和6年9月10日号

中央区立京橋図書館
中央区新富一丁目13番14号

今号の特集 芸術、歴史、医療・健康、CD・DVD など好奇心を刺激する4階フロア



医療・健康コーナー

レファレンスカウンター



階段展示 (3階~4階)

4階テラス

CD・DVDコーナー

階段からの眺望

- 2・3 本森ピックアップ 4階フロア
(レファレンスカウンター、
参考図書コーナー、CD・DVDコーナー、
一般学習室・学習用端末、
演芸・演劇コーナー、医療・健康コーナー)
- 4 まだまだあります4階のフロア紹介!
(「歴史・伝記・地誌など」他)
- 5・6 地域資料室
「中洲残照」
「デジタル画像データ利用サービス」
- 7 本の森イベント報告
- 8 京橋図書館の使い方
「一般学習室・学習用端末の
使い方の巻」



本の森
ちゅうおう
HON no MORI CHUO

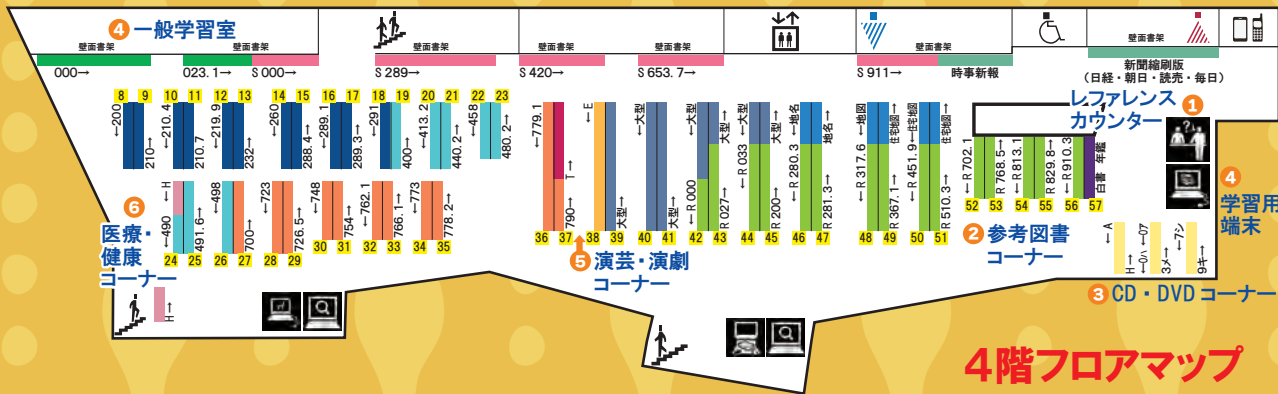
中央区立京橋図書館 Chuo City Kyobashi Library
中央区立郷土資料館 Chuo City Chuo Historical Museum

拡大読書器設置の お知らせ

3階メインカウンター横に拡大読書器が設置されました。詳しい使い方は、設置場所にある操作説明をご覧ください。



拡大読書器



4階フロアマップ

④ 一般学習室・学習用端末

一般学習室や学習用端末の予約の仕方は裏表紙に掲載しています。ご活用ください。



一般学習室



学習用端末

⑤ 演芸・演劇コーナー

寛永元年（1624）、江戸歌舞伎の発祥といわれる「猿若座」が現在の京橋付近に櫓をあげ、明治期には「歌舞伎座」、「明治座」、大正期には日本初となる新劇専門の「築地小劇場」、そして「新橋演舞場」が開場しました。また、戦前まで区内には数多くの寄席があり、人々に笑いの場を提供しました。このように中央区は江戸の頃より演芸・演劇と縁が深い街として栄えてまいりました。演芸・演劇コーナーは、本の森ちゅうおうへの移転に伴い特設されたコーナーです。また向かいには、日本で唯一の演芸専門誌を手掛ける「東京かわら版」様より寄贈された資料の棚があります。江戸から続く文化に想いを馳せてみては、いかがですか？

江戸から続く文化を現在に伝える演芸・演劇コーナー



「東京かわら版」様寄贈資料

⑥ 医療・健康コーナー

医療・健康コーナーは、日々の健康習慣の参考になるような本を、「くらし」「婦人系」「こころ」「暮らし（シニア）」「発達障害」「認知症」「がん」「病気」「薬」にテーマを分けて集めました。また専門機関への足掛かりとして、「聖路加健康ナビスポット：るかなび」や、国立がん研究センターがん情報サービスより寄贈された「がん情報ギフト」の紹介コーナーを設けました。また聖路加国際大学・聖路加国際病院と連携して健康情報の紹介やがんに関する講演会なども開催しています。ぜひご参加ください。



がん情報ギフトコーナー



体の不安の解消に役立つ医療・健康コーナー

京橋図書館・聖路加国際大学・病院連携講演会 「がんについてよく知り 自分らしく生きる道を探そう」

令和6年6月9日（日）に「がん」をテーマに、聖路加国際大学と聖路加国際病院の4名の講師による講演会を開催しました。

①がんについて知る／中村めぐみ氏②自分にあった治療や療養を選ぶには／橋本久美子氏③適切な健康情報の探し方・選び方のコツ／佐山暁子氏④病気を経験した人々の語りに学ぶ／射場典子氏の4つのテーマで、お話しいただきました。昨年に続く2回目の医療・健康講座で、参加してくださった皆様も熱心に聴いていらっしゃいました。



がんについて語る中村めぐみ氏

本森ピックアップ

4F

レファレンスカウンター、
参考図書コーナー、
CD・DVDコーナー、
医療・健康コーナー他

図書館サービスの柱のひとつであるレファレンスカウンターをはじめ、参考図書、医療・健康、演芸・演劇、CD・DVDなど専門的分野を網羅しています。調べものの救世主に、さまざまなジャンルの知識を掘り下げるために「知」の宝庫、4階フロアをご活用ください！



4階フロアは「知」の宝庫。さまざまなジャンルの中から、お好きな資料を選んで、知識を深めることができます。

①レファレンスカウンター

“Reference (レファレンス)”は直訳すると「参照・引用(する)」という意味ですが、図書館サービスでは図書館員が調べもの・探しもののお手伝いをするを意味します。ある事項について調べたいが、どの資料を使えばよいかわからない。そもそもどうやって調べたらよいかわからない。そんな時はレファレンスカウンターにご相談ください。図書館の資料やデータベースなど、様々なツールを駆使してお手伝いします。また、中央区の図書館利用カードをお持ちの方は、図書館ホームページからもレファレンスのお申込みができます。調査研究に、ぜひご活用ください。(骨董品の鑑定など、一部お答えできない質問があります。あらかじめご了承ください。)



調べものの強い味方「レファレンスカウンター」

②参考図書コーナー

4階フロアには、お探しの情報や資料にたどり着くための参考図書を分野ごとに取り揃えたコーナーがあります。辞書・百科事典・年鑑・白書・便覧・図録・地名辞典のほか、住宅地図や新聞の縮刷版もあります。(一部書庫にもありますのでスタッフにお尋ねください。中央区の住宅地図は2階の地域資料室にもあります。)これらの参考図書は貸出しを行っていないものがほとんどですが、近くに閲覧席を用意していますので、ぜひご利用ください。



資料を探す道しるべ「参考図書コーナー」

③CD・DVDコーナー

幅広いジャンルから、約11,000タイトルのCD・DVDを取り揃えました。毎月入れ替わるミニ展示コーナーでは、その時のテーマに沿ったおすすめのご紹介をしています。奇数月の第3土曜日には、1階の多目的ホールで所蔵資料を使用したミニシアターを開催。邦画や洋画、質の高いドキュメンタリーのほか、16mmフィルムをデジタル化したものを上映します。また、「演芸・演劇コーナー」にあわせて、話芸や歌舞伎などの伝統芸能に焦点を当てた「落語・伝統芸能」のコーナーも設置しました。各コーナー、イベントにぜひ足をお運びください。



幅広いジャンルが揃っているCD・DVDコーナー

まだまだ
あります

4階のフロア紹介!

【歴史・伝記・地誌など】

歴史書は、原始時代、古代、中世、近世、近代にジャンル分けされ、日本をはじめ世界の国々や地域の成り立ち、文化・政治・経済などの基本的な情報を得たいときに役立ちます。また伝記は古代から現代にいたる歴史的人物について知ることができます。中でも個人伝記は充実しており、皇室や系譜・家史も網羅しています。そのほかにも世界各国の地誌・紀行文や探検史・発見史のコーナーもあります。原始時代から現代まで、さまざまな国や地域の歩みをめぐってみませんか？



歴史コーナー

【自然科学・数学・天文学など】

科学・数学・物理学・化学といった本は、子どもの頃は苦手でも、大人になって読めるように工夫されています。天文学・地学・気象学・地震学などの本は調べものや学習にも適しています。



自然科学・数学の書架

【生物学・植物学・動物学・医学など】

宝石や深海生物の図鑑などの他、散策に役立つ植物・野鳥のハンドブックなど、眺めるだけでも楽しい本や、昆虫に関する資料も豊富。2階こどもコーナーの本と併せて読むとより知識が深まるかもしれません。



生物科学・動物学の書架

【音楽・映画・演劇（日本現代演劇史）など】

クラシックからロック・ジャズ・童謡など幅広いジャンルにわたる音楽史や、楽器演奏の基礎が学べる教本、歌舞伎・狂言・文楽などの伝統芸能に関する本、日本や欧米の映画史や監督・俳優の評論などが並んでいます。アニメーションや特撮に関する本も揃えています。



音楽・演劇・映画の書架

【スポーツ・諸芸娯楽など】

野球・サッカーをはじめ、キャンプ・登山・釣りなど屋外でのアウトドアスポーツや、柔道・空手といった格闘技、忍者について書かれた本もあります。茶道・花道や囲碁・将棋、ボードゲーム

に関する本など、運動やレクリエーション・趣味にご興味のある方はぜひお立ち寄りください。



スポーツの書架

【大型本コーナー】

サイズが大きく、通常の棚に並べることが難しい本を集めたコーナーです。中には、背の高さが50センチを超える大物も。図鑑や美術全集、書道、歴史書、日本の文様、写真集など数多く、大きな紙面で見られます。背に貼ってある紺色のシールが目印の大型本の書架です。



背表紙の紺色のシールが目印の大型本の書架

【0類・総記・全集など、新書】

図書館や読書案内に関する本があります。図書館について知りたい方や、本を読みたいけれど何を読めばいいかわからないという方はこの棚がおすすめです。総記、書誌学、ジャーナリズム、叢書・全集などさまざまなジャンルを揃えています。また、壁面には分類記号順に新書を集めています。



総記、書誌学、叢書、全集などを揃えた書架

「中洲残照」

「残照」…日没後、なお、空に照りはえて残っている夕日の光。（『広辞苑』より）

現在の日本橋中洲^{なかす}一带は、江戸時代初期までは隅田川河口附近にできた砂州で、「三俣^{ちまた}」と呼ばれる観月の名所でした。舟遊びの屋形船が多く出て、隅田川の花火の際は大いに賑わったといわれています。三俣の名の由来の一つは、隅田川の流れが三方向に分かれる地点にあつたことによります。



「絵本隅田川兩岸一覽 上 三俣の白魚 永代の春風」（文化元年刊）

18世紀後半、大伝馬町の町名主の請願により、三俣が埋め立てられることになりました。埋め立て工事は安永元年（1772）に完工し、約9千坪の島は「三俣富永町」と名付けられました。埋立地には多くの水茶屋の店が許可され、料亭や屋台から湯屋まで含めた一大歓楽街となりました。しかし、あまりに急激な発展と賑わいとで幕府の監視を受け、寛政の改革で贅沢禁止令の対象となり、歓楽街の禁止と三俣富永町の廃止が決まり、隅田川の洪水対策を理由に埋立地自体が撤去され、中洲は造成から10年余りで消滅しました。



「東京名所図会 大川端中州の景」（都立中央図書館所蔵、明治2年出版）

明治以降も中洲は砂州のままでしたが、明治19年（1886）に再度の埋立工事が完工し、日本橋区に編入されて「中洲町」と命名されま

した。中洲町内の隅田川沿いには多くの料亭が建ち並び、花街が誕生しました。同26年（1893）には小劇場の真砂座^{まきざ}が開場し、人氣を博しました。また、明治末から昭和初期にかけて、交通の発達で中洲がより賑わうと、同地には小山内薫や佐藤春夫、谷崎潤一郎、永井荷風等の文人が集まり、その作品中に往時の中洲の賑わいを書き残しています。



「中洲附近の図 真砂座」（明治34年頃）



「真砂座」（大正初年）

昭和3年（1928）、隅田川に清洲橋が架かり、中洲と対岸が結ばれ、同10年（1935）頃、中洲の隅田川沿いには料亭や待合が、片や箱崎川沿いには大小の倉庫が建ち並んでいました。戦後、昭和22年（1947）の中央区誕生で、中洲の町名は「日

本橋中洲」となり、高度成長期まで中洲の隅田川河畔には、料亭が設けた舟遊び用の棧橋が見られました。



隅田川河畔の日本橋中洲（昭和32年頃）



清洲橋 日本橋箱崎町より（平成20年）

1970年代以降、箱崎川の埋め立てや首都高速向島線の開通、隅田川の護岸工事等により町の様子は一変し、料亭は激減しました。その跡地は大型倉庫から大型マンションへと変貌し、現在はマンションが林立する町並みとなっています。なお、町内に鎮座する金刀比羅宮の玉垣には、昔日の料亭の名が数々刻まれており、往時の賑わいを偲ばせます。

【参考文献】

- 『中央区史 上巻』
- 『中央区史 下巻』
- 『中央区三十年史 上巻』
- 『中央区の昔を語る 15 八重洲一丁目 中洲』
- 『中央区沿革図集 日本橋篇』

地域資料室デジタル画像データ利用サービス

地域資料室では錦絵や古写真など約 14,600 点のデジタル画像データを所蔵しています。デジタル画像データは図書館のホームページや館内にある検索機から閲覧することができます。写真・絵葉書・スライド約 13,930 点、錦絵約 330 点、番付約 340 点などさまざまな資料を用意しています。また、図書館ホームページ内の「Web ギャラリー」(画像①)ではテーマごとにおすすめのデジタル画像データを紹介しています。ぜひ、ご利用ください。



画像① Webギャラリー

◎写真・絵葉書・スライド
約13,930点



◎錦絵 約330点



◎番付 約340点



デジタル画像データの利用申請方法

画像データは「京橋図書館所蔵資料複写・画像資料借出申請書」を提出していただければどなたでも利用することができます。

1. 「京橋図書館所蔵資料複写・画像資料借出申請書」は図書館ホームページからダウンロード(画像②)するか、地域資料室のカウンターで受け取れます。

2. 申請に必要な書類は以下のとおりです。

・「京橋図書館所蔵資料複写・画像資料借出申請書」〈個人利用の場合は個人印の押印(※シャチハタ不可)、法人利用の場合は社判の押印が必要)・企画書(個人利用でない場合のみ)※画像データの利用サービスの詳細は図書館ホームページで確認できます。(画像③)

3. 上記の書類に必要な事項を記入して、申請に必要な書類一式を地域資料室のカウンターへ提出してください。(個人利用での申請の場合、本人確認書類または中央区図書館利用カードが必要です)

利用上の条件

◎来館での申請のみとなります。

◎当館所蔵のデジタル画像データの貸出は、すべて CD-ROM で行い、貸出点数は 10 点まで、期限は1週間とします。

1. デジタル画像データは、営利目的に使用できません。調査・研究等に資するものに限ります。また、画像データの複製・転載・転送・再配布・改変を無断で行うことを禁止します。

2. デジタル画像データの使用にあたっては、掲載した刊行物および放映した番組等、形になるものである場合は、成果物を寄贈していただきます。

3. ご利用の際には以下のクレジット名を明示してください。

[クレジット名(例)]「写真提供：中央区立京橋図書館」
「photo:Chuo City Kyobashi Library」

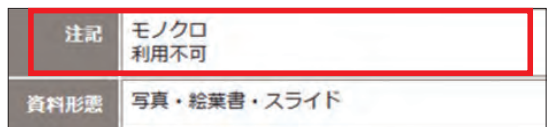
4. 「資料詳細>基本情報>注記」の注記欄に「利用不可」の表示があるデジタル画像データにつきましては、著作権者等の意向により申請いたしてもデジタル画像データを貸出できません。(画像④)



画像② 「京橋図書館所蔵資料複写・画像資料借出申請書」のダウンロード画面



画像③ 画像データを利用申請するためのホームページ画面



画像④ 「利用不可」の写真を確認する画面

2024年
3月～5月開催

本の森イベント報告

この期間に1階 多目的ホールで開催されたイベントをご紹介します。

2024年3月3日(日) 午後2時～4時

紅林章央先生講演会

「復興は橋から～関東大震災復興で隅田川の橋はいかに造られたか～」

「橋の展覧会」と呼ばれるほど、隅田川には、さまざまなタイプの橋が架かっています。関東大震災で被災し、数多くが通行不能になりましたが、わずか7～8年あまりで復興しました。そんな隅田川の橋梁の歩みや技術について紅林先生に解説していただきました。当時の技術者はいかにして、この世界に冠たる橋梁群を作り上げたのか？橋に込めた想いを探り、また現在、世界各国に架かる素晴らしい橋も紹介していただきました。



紅林章央先生

2024年4月13日(土) 午後2時～4時

鐵砲洲稻荷神社・宮司 中川文隆氏 弥生会(氏子青年会)第4代会長 大井真二氏 「鐵砲洲稻荷神社の歴史と弥生会の歩み」

千年以上の長い歴史を持ち、歌川広重の『名所江戸百景』に描かれたことでも知られる鐵砲洲稻荷神社の歴史や活動、神道について宮司の中川文隆氏に、また弥生会(氏子青年会)のこれまでの歩みや各行事の意味合いなどについて第4代会長の大井真二氏に語っていただきました。戦前からのビデオ上映に絡めたお話しに参加者は楽しんでいました。



中川文隆宮司



大井真二会長

2024年4月29日(月・祝) 午後2時～4時

岩下尚史先生講演会

「東をどりの歴史～邦楽舞踊界を牽引した新橋花街～」

銀座に残る日本有数の花柳界・新橋。普段は、一見お断りの新橋花柳界が、年に一度、新橋演舞場にて新橋芸者の晴れ舞台である「東をどり」を開催します。その「東をどり」の歴史や邦楽舞踊界を牽引した新橋花街について、昨年引き続き、岩下尚史先生にご講演いただきました。多くの観客を魅了する先生の話術は、さらに磨きがかかり、参加いただいた皆様に大満足の講演会となりました。



岩下尚史先生

2024年5月3日(金・祝)

2歳以下向け：午前11時～11時30分

3歳以上向け：午後2時～3時10分

「子ども読書の日記念おはなし会」

子ども読書の日を記念して、おはなし会を開催しました。「さよならあんころもち」などのわらべ歌や手遊び、大型絵本、大型紙芝居、パネルシアターなどを行い、みんな楽しそうに参加してくれました。特にパネルシアターは、盛り上がり、みんなパネルの前に来て、集中して聞いてくれました。色鉛筆のプレゼントも好評でした。



大型紙芝居

2024年5月12日(日) 午前11時～12時

本の森の工作会

「ふわふわタオルでねこをつくろう」

参加していただいた皆さんのタオルに、手足や目といった図書館員が作ったフェルトパーツを使って、みんながねこを作りました。さまざまなねこができあがり、できあがったねこを子ども同士で見せあいながら、交流を深めていました。工作後にはフォトブースで、「かわいい！」と言いながら、みんなが撮影されていました。素敵な作品と思い出が残ったのではないかと思います。



ふわふわタオルでねこづくり



力作の完成

2024年5月26日(日) 午前の部:10時～11時30分 午後の部:2時～3時30分

本森わーくしよっぷ

「水引細工で葉づくり」

参加者自身が選んだ配色で水引細工を作り、読書のお供・葉を組み立てるワークショップを開催しました。使用する素材は色数を豊富に揃え、組み合わせ方は数十万通り。配色図鑑を片手に組み合わせを吟味される方もいらっしゃいました。細かい作業に集中しながらも参加者同士で会話が弾み、お互いに配色や作り方のアドバイスをする一場面も。思い思いの配色で、オンリーワンの作品ができあがりました。



わーくしよっぷ風景



作品から



京橋図書館の使い方 一般学習室・学習用端末の使い方の巻



学習用のスペースや、インターネットが使えるパソコン備え付けの席はないのかな？

学習席は4階の一般学習室内に21席あります。
※3階にも19席あります。
データベースを利用できるパソコン備え付けの席もあります。
学習用端末と呼んでいます。



4階 一般学習室



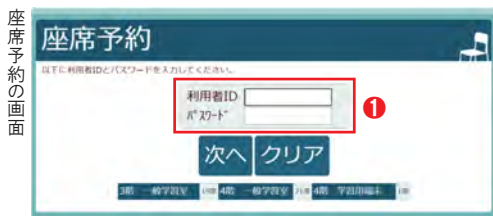
学習用端末

どちらも4階にある座席予約端末機で席の確保手続きをしてから、利用できます。

トップ画面に利用者ID（利用カードのバーコード下の番号）とパスワードを入力します。(1)

※パスワードをお忘れの方は、住所の確認ができる証明書をお持ちのうえ、各カウンターで再発行手続きができます。

※座席予約端末機は3階にもあります。



座席予約の画面

次に利用したいフロアの一般学習室もしくは学習用端末を選択します。

※学習室の座席番号の指定はできません。(2)



確保条件選択の画面

最後に利用したい時間帯を指定します。

※利用時間は各時間の00分～59分を1コマとして扱います。最大利用時間は、一般学習室が4コマまで、学習用端末は2コマまでとなります。(3)

※空席の確保は60分前から行うことができます。

※初回は、現在の時刻のコマと、次のコマを連続して確保することができます。



座席確保一覧の画面

◎一般学習室の座席を利用する時は、座席確保時に発行された確保票を必ず座席のクリップに挟んでご利用ください。

◎一般学習室、学習用端末席では食事・通話はできません。

◎荷物を置いたまま長時間の離席はご遠慮ください。

◎利用時間の終了時は、速やかに退席をお願いします。



時間の途中で帰るときはどうするの？

利用時間の途中で利用を終了する場合は、座席予約端末機で確保取り消しの手続きを行ってください。



令和6年7月1日(月) 中央区立晴海図書館が開館しました！

【3階フロア】一般エリア、児童エリア、新聞・雑誌コーナー

【4階フロア】Teens&Youth エリア、グループ学習室、利用者交流室（飲食可能）

※閲覧席は、3階、4階に280席設けています。

（住所）〒104-0053 中央区晴海 4-8-1

晴海区民センター3・4階

（電話番号）03-5166-3131

（利用時間）月曜日～土曜日 午前9時～午後9時

日曜日・祝日 午前9時～午後5時

（休館日）毎月第3木曜日、年末年始、特別整理・保守点検期間（晴海区民センター内）



中央区立晴海図書館外観



明るく広々とした晴海図書館館内

編集後記

本森百景になってから、4号目を迎えることになりました（京橋図書館だよりとしては8号）。今号は京橋図書館の4階フロアをご紹介します。4階フロアは「調べる」をコンセプトとし、参考図書や大型本など調査に適した資料を配架しています。またレファレンスカウンターでは皆さまの調べるを支援する司書を配置し、学習端末では各種DBの検索が可能です。皆さまのご利用をお待ちしています。

京橋図書館長